

議 会 報 告

令和7年第4回定例会

令和7年伊万里市議会第4回定例会が、12月1日から17日まで開かれました。今回の定例会では、条例議案11件、一般議案7件、予算議案6件、報告1件の審議、また、一般市政に対する質問などが行われました。

審議の結果、提出議案は、原案のとおり可決、同意されました。

主な内容は、次のとおりです。

条例議案

■乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の改正に伴い、保育所などに通っていない満3歳未満の乳幼児を対象とした通園支援事業の施設の設備、職員の配置などに関する認可基準を定めるために制定したものです。

■特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

子ども・子育て支援法の改正

■職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

佐賀県人事委員会勧告等に基づく佐賀県の一般職の職員の取扱いに準じ、職員の給料、期末手当及び勤勉手当の額並びに通勤手当の上限額を増額するために改正したものです。

■企業活動支援センター条例の一部を改正する条例

施設の老朽化に伴い、企業活動支援センターの貸工場棟を廃止するために改正したものです。

■消防団条例の一部を改正する条例

不足する消防力を補完するため、火災時における出動など、特定の活動に限り従事する支援団員制度を導入するために改正したものです。

■体育施設の設定及び管理に関する条例の一部を改正する条例

施設の老朽化と利用者数の減少に伴い、深山プールを廃止するために改正したものです。

■火入れに関する条例の一部を改正する条例

伊万里・有田消防組合火災予防条例の改正に伴い、林野火災注意報の発令時における火入れを制限するために改正したものです。

一般議案

■財産の無償譲渡

市の体育施設としての供用を廃止する深山プールを、深山自治会に無償譲渡するものです。

■あらたに生じた土地の確認

■字の区域の変更

黒川町黒塩字飛石及び字鎮崎地先の公有水面が道路用地として埋め立てられたことに伴い、あらたに生じた土地の確認をするとともに、当該土地を黒川町黒塩字飛石及び字鎮崎に編入したものです。

■路線の認定

伊万里大通り線ほか1路線を市道に認定するものです。

■路線の廃止

六仙寺く立花台地線ほか5路線を市道から廃止するものです。

■伊万里・有田地区衛生組合規約の変更の協議

伊万里・有田地区衛生組合負担金の構成団体の負担割合を変更することに伴い、同組合規約を変更することについて、構成団体で協議したものです。

■教育委員会委員の任命

委員 山口萩月氏の任期が令和7年12月31日で満了することに伴い、新たに久保田文香氏を任命したものです。

予算議案

■令和7年度一般会計補正予算（第8号）

一般会計の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ8億9398万円を追加し、補正後の予算総額は367億2729万3000円となりました。

※歳出補正の主なもの

▽市民センター管理運営事業 580万円
▽障がい者（児）介護・訓練等給付事業 1億4022万円

▽繁殖農家施設等整備支援事業 486万円

▽道路管理事業（単独） 1485万円

▽小学校施設環境改善事業 5305万円

▽土木施設災害復旧事業（補助・現年） 7108万円

▽水道事業繰出金 5036万円

一般市政に対する質問

市政に関する諸問題について、12人の議員から26項目の質問がありました。

パブリックコメント（市民意見提出手続制度）の募集について

市は『子ども・若者育成支援推進法』に基づき、新たに『伊万里市子ども・若者計画』を策定しています。

本計画の対象年齢は、0歳から40歳未満ですが、令和6年度に策定した『伊万里市子ども・子育て支援事業計画』と対象が重ならないように整理し、主に青年期・ポスト青年期にあたる18歳から40歳未満までの若者を対象としています。子ども・若者の健やかな成長や社会貢献、自立に向けた力の育成をはじめ、ひきこもりや若年無業者（ニート）への支援などを目的とした計画です。

計画策定にあたり、皆さんの意見を寄せてください。

パブリックコメント案内

◆意見提出をお願いする資料 『伊万里市子ども・若者計画（案）』

◆意見募集期間 2月6日（金）～27日（金）必着

◆案の公表場所・入手先 (1)企画政策課、市民情報コーナー、各コミュニティセンター、市民図書館
(2)市ホームページ <https://www.city.imari.lg.jp>

◆意見の提出方法 意見は、住所・氏名（または団体名）を明記のうえ、次のいずれかの方法で提出してください。

①メール kikaku@city.imari.lg.jp

②郵便 〒848-8501 伊万里市立花町1355番地1 伊万里市役所 企画政策課 ③ファックス番号 22-7213

④直接提出 案の公表場所・入手先(1)のいずれか ⑤投稿フォーム（市ホームページ内）

◆問合せ先 企画政策課企画係（☎ 23-2124）

市ホームページ↓



市指定ごみ袋に掲載する広告を募集します

●応募・問合せ先 環境政策課リサイクル推進係（☎ 23-2145）

市指定ごみ袋で、あなたの会社や団体を宣伝しませんか。

●掲載物 令和8年度中に作製する『市指定ごみ袋』の『可燃物用（大）』約120万枚（予定）

●提出規格 1枠が縦6cm×横36cm、青色1色刷り

●募集枠数 3枠

応募は原則1枠で、応募数が少ない場合は、2枠以上の掲載も可能です。

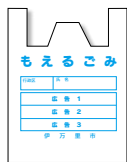
応募多数の場合は、市広告掲載取扱要領に基づき、市で選考します。

●掲載料（年額） 1枠当たり10万円

●掲載（店頭販売）開始時期 9月（予定）

●応募方法 法令に違反するものや政治性、宗教性のあるものは掲載できないなど、広告内容には一定の制限がありますので、市広告掲載取扱要領を確認し、応募用紙に広告の原稿を添えて提出してください。要領と応募用紙は、問合せ先で入手できるほか、市ホームページからダウンロードできます。

●募集期限 2月27日（金）



ジェネリック医薬品に切り替えると薬代が安くなる場合があります

●問合せ先 ▼市民課年金保険係（☎ 23-2153）

▼佐賀県後期高齢者医療広域連合業務課企画・保健係（☎ 0952-64-8476）

1月末に、対象であると見込まれる人に『ジェネリック医薬品に関するお知らせ』を郵送しました。

通知している内容は、現在、服用している薬をジェネリック医薬品（後発医薬品）に切り替えると、薬代の自己負担額をどのくらい軽減できるかを試算して、知らせているもので、ジェネリック医薬品への切り替えを強制するものではありません。

●通知の対象者

令和7年10月に処方された先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、1か月当たり一定額以上の自己負担額の軽減が見込まれる人

●通知の記載内容

薬にかかった金額のみを表示しています。

実際の支払額は、技術料や管理料などの費用が加算されます。

■ジェネリック医薬品とは

最初に作られた薬（先発医薬品）の特許が切れたあとに製造・販売される、同等の有効性・品質を持つ低価格の医薬品のことです。使用を希望する場合は、医師や薬剤師に相談してください。

■ジェネリック医薬品使用のメリット

医療の質を保ちながら、個人の負担や医療費の抑制につながります。

高額医療・高額介護合算療養費制度

2月下旬に、支給対象者に『高額医療・高額介護合算療養費制度』の通知を郵送します。
令和7年8月1日から2年を過ぎると申請できないため、早めに手続きを行ってください。

● 申請受付場所 市民課

● 問合せ先 ▷ 国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入の人

市民課年金保険係 (☎ 23-2153)

▷ 国民健康保険・後期高齢者医療制度以外の医療保険に加入の人

長寿社会課介護給付係 (☎ 23-2154)

◆ 次のいずれかに該当する人は、支給対象となることを通知できない場合があります

令和6年8月1日～令和7年7月31日の間に、

▷ 市町を越える転居をした人

▷ ほかの医療保険制度から、国民健康保険か後期高齢者医療制度に変更した人（75歳の年齢到達者など）

※ 被用者保険（国民健康保険・後期高齢者医療制度以外の健康保険）に加入している人には、通知は届きません。

■ 高額医療・高額介護合算療養費制度とは

医療と介護の両方のサービスを利用している世帯の負担を軽減するもので、各医療保険の世帯ごとに、1年間に支払った医療保険と介護保険の自己負担額を合計し、基準額を超えた場合に、その超えた金額を支給するものです。

■ 支給要件・支給額は

各医療保険の世帯ごとに、令和6年8月1日から令和7年7月31日までに支払った、医療保険と介護保険の自己負担額の合計が、次の基準額を超えた場合に、その超えた額を支給します。自己負担額が基準額+500円を超える場合に【自己負担額-基準額】を支給します。

基準額は、所得によって異なります。次の表で確認してください。

後期高齢者医療制度の世帯、または、
国民健康保険・被用者保険で70～74歳の人がある世帯

国民健康保険・被用者保険で
70歳未満の人がある世帯

課税区分	所得区分	負担割合	基準額
住民税課税世帯	現役並み所得者Ⅲ (課税所得690万円以上)	3割	212万円
	現役並み所得者Ⅱ (課税所得380万円以上)		141万円
	現役並み所得者Ⅰ (課税所得145万円以上)		67万円
	一般	2割	56万円
住民税非課税世帯	低所得Ⅱ(※1)		31万円
	低所得Ⅰ(※2)	1割	19万円

基礎控除後の総所得金額	基準額
901万円超	212万円
600万円超 901万円以下	141万円
210万円超 600万円以下	67万円
210万円以下	60万円
住民税非課税世帯	34万円

※1『低所得Ⅱ』 世帯員全員が住民税非課税の世帯

※2『低所得Ⅰ』 低所得者Ⅱのうち、世帯員全員の所得が一定基準以下の世帯
(年金収入80万円以下など)



各地区のウォーキングイベントの参加者を募集します

3月は、各地区でウォーキングイベントが開催されます。詳しくは、それぞれの応募・問合せ先に問い合わせてください。

秘窯の里ふれあいウォーキング

- 日 時 3月1日（日）午前10時スタート
- コース 大川内小学校→大川内山（3.4 km）
- 参加料 300 円（当日徴収）
- 募集人数 制限なし
- 応募方法 応募用紙を直接持参、ファックス、郵送、メール、Logo フォームのいずれかで提出
応募用紙は、市ホームページからダウンロードできます。
- 募集期限 2月12日（木）
- 応募・問合せ先 大川内コミュニティセンター
☎ 23 - 2774 FAX 23 - 0419
Mail ookawachi-cc@city.imari.lg.jp



↑ Logo フォーム

東山代町史跡巡りウォーキング大会

- 日 時 3月15日（日）午前9時45分スタート
- コース ④東山代コミュニティセンター発着・史跡3か所（5.3 km）
⑧東山代コミュニティセンター発着・史跡4か所（6.5 km）
- 参加料 300 円（当日徴収）
- 募集人数 150 人（小学生以上）
- 応募方法 応募用紙を直接持参、ファックス、郵送、メールのいずれかで提出
応募用紙は、市ホームページからダウンロードできます。
- 募集期限 3月2日（月）
- 応募・問合せ先 東山代コミュニティセンター
☎ 28 - 0001 FAX 28 - 0840
Mail higashiyamashiro-cc@city.imari.lg.jp



波多津ウォーク 2026

- 日 時 3月29日（日）午前9時スタート
- コース 波多津コミュニティセンター→田嶋神社→あぐり山→高尾山→波多津ふれあい広場（9.5 km）
（6 kmコース・2.5 kmコースもあります。）
- 参加料 300 円（当日徴収）
中学生以下は無料です。
- 募集人数 300 人
- 応募方法 申込書を直接持参、ファックス、メール、Logo フォームのいずれかで提出、電話
申込書は、市ホームページからダウンロードできます。
- 募集期間 2月16日（月）～3月18日（水）
- 応募・問合せ先 波多津コミュニティセンター
☎ 25 - 0001 FAX 25 - 1140
Mail hatatsu-cc@city.imari.lg.jp



↑ Logo フォーム

2026 はる爛漫ウォーク

- 日 時 3月29日（日）午前9時30分スタート
- コース 山代中学校→立岩（平戸街道）→浦ノ崎公民館（5 km）
- 参加料 300 円（当日徴収）
- 募集人数 150 人（小学生以上）
- 応募方法 申込書を直接持参、ファックス、郵送、メール、またはチラシの二次元コードのいずれかで提出
申込書は、市ホームページからダウンロードできます。
- 募集期限 3月19日（木）
- 応募・問合せ先 山代コミュニティセンター
☎ 28 - 2001 FAX 28 - 2701
Mail yamashiro-cc@city.imari.lg.jp



1月1日付けで新任・再任した人権擁護委員

- 問合せ 佐賀地方法務局伊万里支局（☎ 23 - 2492）

人権擁護委員は、法務大臣の委嘱を受けて、地域での人権相談や啓発活動を行う『あなたのまちの相談パートナー』です。いじめや差別、プライバシー侵害など、人権に関わる問題で悩みがあれば、気軽に相談してください。

【新任】 中島 康子さん（瀬戸町） 吉野 憲治さん（黒川町）

【再任】 福地 佳野さん（波多津町） 松尾 ふき子さん（松浦町） 高木 和之さん（山代町）

物価高対応子育て応援手当を支給します

● 問合先 子育て支援課子育て支援係 (☎ 23-2310)

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援するため、令和7年11月21日に閣議決定された『強い経済』を実現する総合経済対策』に基づき、0歳から高校3年生までの子ども1人当たり2万円の『物価高対応子育て応援手当』を支給します。

● 支給対象者

- ①令和7年9月30日時点で伊万里市在住の児童手当受給者
- ②令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童に係る児童手当受給者
- ③令和7年10月1日以降に離婚（離婚調停中も含む）により児童手当受給者が変更となった人

● 手当額 子ども1人あたり2万円（一時金）

● 手当の支給について 支給日は、4月頃を予定しています。支給方法は、原則、児童手当の振り込み口座です。

● 申請について ①の人は、市から応援手当について通知します。申請は不要です。

②③の人は、申請が必要です。市から申請について通知します。

公務員の人は、原則、申請が必要です。申請方法は、所属庁に確認してください。

詳細は、決まり次第、市ホームページに掲載します。

母子家庭の母、父子家庭の父の就職に有利な資格取得を支援します

● 問合先 子育て支援課子育て支援係 (☎ 23-2310)

■ 高等職業訓練促進給付金等

専門的な資格取得のため修業する場合に支給します。修業期間が修了したあとは、高等職業訓練修了支援給付金を支給します。

● 対象

児童（20歳未満）を養育している母子家庭の母・父子家庭の父で、次のすべての要件を満たす人

- ①市内に住所を有する人
- ②児童扶養手当の支給を受けている人か同等の所得水準の人
- ③養成機関において、6か月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる人
- ④過去にこの給付金や同等の給付金を受給したことがない人

● 対象資格 6か月以上修業する必要がある、資格取得後、当該職種への就労が見込まれる専門的な資格

【例】看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士など

● 支給対象期間

- ▷ 訓練促進給付金 修業期間の全期間（上限4年）
- ▷ 訓練修了支援給付金 修了した日以降に申請が可能

● 支給額

▷ 訓練促進給付金

- ・市町村民税非課税世帯 月額 100,000 円
 - ・市町村民税課税世帯 月額 70,500 円
- 修業期間の最後の1年間は、月額 40,000 円を加算します。

▷ 訓練修了支援給付金

- ・市町村民税非課税世帯 月額 50,000 円
- ・市町村民税課税世帯 月額 25,000 円

● 申請方法 事前相談が必要です。問合先に確認してください。

■ 自立支援教育訓練給付金

就業に結びつきやすい講座を受講した場合、入学金と受講料の6割を支給します。

雇用保険制度の教育訓練給付を受けている人でも、差額を支給できる場合がありますので、相談してください。

● 対象

児童（20歳未満）を養育している母子家庭の母・父子家庭の父で、次のすべての要件を満たす人

- ①市内に住所を有する人
- ②『母子・父子自立支援プログラム』の策定などを受けている人

● 対象講座 雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座

● 支給額

対象講座の受講料などの6割相当額

① 専門実践教育訓練給付の指定講座

上限 40 万円×修学年数（最大 160 万円）

修了後1年以内に資格を取得し、就職などをした場合、受講料などの2.5割（上限 年間 20 万円）を追加支給します。

② 特定一般教育訓練給付の指定講座

上限 20 万円

③ 一般教育訓練給付の指定講座

上限 20 万円

【①～③共通】

支給額が12,000円を超えない場合、支給対象となりません。

● 申請方法 事前相談が必要です。問合先に確認してください。



養育費の取り決めは済んでいますか

● 問合先 子育て支援課子育て支援係 (☎ 23-2310)

養育費を取り決めることは、子どもの将来のための親の責務です。離婚するときに、養育費に関する公正証書などを作成する場合や、養育費保証契約を締結する場合の費用などを補助します。

● 対 象

- ▷ 公正証書などを作成するときに必要な経費
- ▷ 保証会社と養育費保証契約を締結するときの初回の保証料

● 申請期限 作成日や締結日の翌日から6か月以内に申請してください。

● 補助金額 対象経費ごとに上限5万円で、1人1回限りです。

受給要件や提出書類など、詳しくは、市ホームページで確認してください。→



新しい山代小学校の『校歌の歌詞』を募集します

● 問合先 学校教育課学校教育係 (☎ 23-3185)

山代東小学校と山代西小学校が統合され、現在の山代東小学校の場所に、令和9年4月、新たに『山代小学校』が開校します。この新たなスタートに向け、地域に親しまれ、将来にわたって歌い継がれる、新しい学校にふさわしい校歌の歌詞を募集します。

● 応募資格

どなたでも、ひとり何点でも応募できます。応募用紙は、1点につき1枚です。

● 応募方法

① 郵 送

応募用紙に必要事項を記入し、郵送してください。

応募用紙は、学校教育課にあります。また、市ホームページからダウンロードできます。

② 応募フォーム

市ホームページ上の応募フォームから応募してください。

● 応募期限

3月31日(火) 郵送の場合は、当日の消印まで有効です。

● 応募・問合先

〒848-8501 伊万里市立花町 1355 番地 1 伊万里市教育委員会 学校教育課 (☎ 0955-23-3185)

● 留意事項

必ず応募用紙裏面の応募要領を確認してください。

現在の校歌の歌詞は、次の山代東小学校、山代西小学校のホームページで確認してください。↓

山代町の自然や風土、歴史などについては、次の市ホームページ『山代コミュニティセンター』を参考にしてください。↓



山代東小学校



山代西小学校



山代コミュニティセンター



立地適正化計画に基づく届出制度が開始されます

● 問合先 都市政策課都市計画係 (☎ 23-2476)

市は、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画を策定していて、2月27日(金)に公表を予定しています。

計画の公表日以降は、居住誘導区域外で3戸以上の住宅を開発・建築する場合や、都市機能誘導区域外で誘導施設(1,000㎡以上の商業施設、診療所、幼稚園、保育所、共同利用型オフィスなど)を開発・建築する場合などは、工事に着手する30日前までに、市への届出が必要になります。

対象区域や誘導施設などの詳細は、市ホームページで確認してください。→



農業委員会委員・農地利用最適化推進委員を募集します

- 問合せ先 ▽農業振興課農政企画係（☎ 23-2557）
▽農業委員会事務局（☎ 23-2502）

農業委員会委員と農地利用最適化推進委員の任期満了に伴う改選のため、委員を募集します。また、推薦を行うことができますので、詳しくは、問い合わせてください。

■ 農業委員会委員

● 職務内容

農地法などの許認可の審査、農地利用の最適化の推進など

● 募集人数 14人

● 応募資格

農業に関する知識があり、農地などの利用の最適化の推進に関する事項、その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる人ただし、14人のうち、8人以上は認定農業者であることなどの条件あり

● 報酬 月額 26,900 円

【共通事項】

● 任期（3年）

7月20日～令和11年7月19日

● 募集期間

2月13日（金）～3月12日（木）当日消印有効

● 推薦・応募方法

推薦・応募書類を応募先に持参または郵送してください。
推薦・応募に必要な書類は、農業振興課・農業委員会事務局・各コミュニティセンターにあります。また、市ホームページからダウンロードできます。詳しくは、市ホームページで確認してください。

● 応募先

〒848-8501 伊万里市立花町1355番地1
伊万里市役所 農業振興課か農業委員会事務局

■ 農地利用最適化推進委員

● 職務内容

担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進に関する活動など

● 募集人数 20人（詳細は【表】のとおり）

● 応募資格

農地などの利用の最適化の推進に熱意と知識がある人

● 報酬 月額 13,450 円

【表】農地利用最適化推進委員の担当地域・募集人数

担当地域	地域の詳細	募集人数
伊万里	伊万里町・蓮池町・脇田町・松島町・木須町・瀬戸町	2人
中央	新天町・立花町・大坪町・大川内町	2人
黒川	黒川町	2人
波多津	波多津町	2人
南波多	南波多町	2人
大川	大川町	2人
松浦	松浦町	2人
二里	二里町	2人
東山代	東山代町	2人
山代	山代町	2人

令和8年度 交通災害共済の加入者を募集します

- 問合せ先 市民課窓口係（☎ 23-2143）

交通災害共済は、万が一の車両との交通事故に備える共済制度で、1人につき年額500円で加入することが特徴です。加入を希望する人は、市民課、市内郵便局、各コミュニティセンターにある加入申込書を提出してください。

また、市は、対象となる障がい者手帳（身体障がい者手帳1・2級、療育手帳A、精神障がい者保健福祉手帳1級）を持っている人を対象に、掛金の半額を助成しています。

詳しくは、佐賀県市町総合事務組合のホームページで確認してください。

● 加入できる人 伊万里市民

● 対象となる事故 車両の自損事故・人と車の事故・車と車の事故など

● 共済期間 4月1日（水）～令和9年3月31日（水）

● 掛金 1人につき年額500円

● 見舞金 右表のとおり

● 受付期間 2月2日（月）～令和9年3月30日（火）

● 受付場所 伊万里市役所 市民課、ゆうちょ銀行、郵便局

佐賀県市町総合事務組合ホームページ↓



区分	等級	災害の程度	見舞金額
自動車安全運転センター等の交通事故証明書をつけたもの	1	死亡	100万円
	2	自賠責法施行令別表第1及び別表第2の第1級に該当する後遺障害	100万円
	3	入院・通院日数 150日以上	10万円
	4	100日以上	5万円
	5	50日以上	3万5千円
	6	25日以上	2万5千円
	7	10日以上	1万5千円
上記証明書をつけないもの	8	25日以上	2万円
	9	10日以上	1万2千円

伊万里税務署で確定申告を受け付けます

● 問合せ 伊万里税務署 (☎ 23 - 3147)

確定申告会場では、原則、自身のスマートフォンを使用して、申告書を作成してもらいます。確定申告書に必要な書類とマイナンバーカードを持参してください。スマートフォンとマイナンバーカードがあれば、国税庁ホームページの『確定申告書等作成コーナー』を活用して、自宅から確定申告を行うことができます。いずれも、マイナンバーカードの2種類の暗証番号が必要です。

不動産の売却・贈与税について、申告会場での申告相談を希望する人は、2月16日(月)から3月16日(月)までの間の、月～水曜日に来てください。

● 令和7年分の申告・納期限

- ▷ 所得税・贈与税 3月16日(月)
- ▷ 個人事業者の消費税 3月31日(火)

● 受付期間

2月16日(月)～3月16日(月) 土・日曜日、祝日は除きます。

● 受付時間

午前9時～午後4時

● 受付場所

伊万里税務署

● 申告会場への入場

日時が指定された『入場整理券』が必要です。入場整理券は、申告会場の受付で、当日配布します。また、国税庁LINE公式アカウントを『友だち追加』すると、入場整理券が事前に入手できます。



確定申告書等
作成コーナー



国税庁LINE公式
アカウント

令和8年度 伊万里市ソフトボール協会チーム登録を受け付けます

● 問合せ 伊万里市ソフトボール協会事務局 松本 (☎ 090 - 3737 - 2593)

● 受付日時 2月12日(木)、13日(金) 午後6時～8時

● 受付場所 市ソフトボール協会事務所(国見台)

● 登録料 9,000円

登録用紙は、事務局が各コミュニティセンターにあります。



↑シンガポールでは体験できない日本の文化を学びたいと話していたライアンさん(中央)

12月12日、伊万里ライオンズクラブの学生交換プログラムでシンガポールから短期留学していた、ライアン・マーさんが深浦弘信市長を表敬訪問しました。

この日は、ライアンさんのほか、伊万里ライオンズクラブの永尾芳行会長、ホストファミリーでライオンズクラブ会員の浦川嘉子さんが市役所を訪れ、ライアンさんは、日本語で自己紹介を行うなど、深浦市長と交流を深めました。

滞在中は、県内の観光地を巡ったほか、伊万里焼の絵付けや餅つきなど、日本の文化を体験しました。

**交換留学生が
市長を表敬訪問**



↑地域文化功労者表彰を受賞した湊さん(中央)

12月25日、民謡平成会会主の湊英詔さんが、令和7年度地域文化功労者表彰の受賞を報告するため、深浦弘信市長を表敬訪問しました。

湊さんは、長年にわたり、民謡歌手として活動してきたことに加え、民謡平成会会主などを務め、地域文化の振興に貢献したことなどが評価されました。

また、平成28年に伊万里市観光大使に任命されて以降は、民謡を通して、各地で伊万里の文化を紹介し、伊万里焼にとどまらない多様な文化の魅力を発信し続けています。

**令和7年度地域
文化功労者表彰**

伊万里湾小型船安全協会緑綬褒章受章

12月5日、伊万里湾小型船安全協会の寺澤元理事長など3人が、東京都で行われた、令和7年秋の褒章伝達式で、緑綬褒章を受章したことを報告するため、深浦弘信市長を表敬訪問しました。

同協会は、2004年に設立され、現在の会員は134人で、設立から20年間継続して、年に約10回程度、伊万里湾内の清掃奉仕活動を実施してきました。

また、日本で初めて水上バイクを活用した防犯パトロール隊『青バイ隊』を結成し、海の安全に貢献してきました。加えて、子どもを対象にした環境保全に関する啓発活動に取り組んでいることなどが評価され、受章を果たしました。



↑寺澤理事長（右から2人目）、山口副会長（左から2人目）、塚本理事（左）

岩永孝雄さんが旭日単光章受章

12月11日、岩永孝雄さんが、令和7年秋の叙勲で、旭日単光章を受章したことを報告するため、深浦弘信市長を表敬訪問しました。

岩永さんは、長年にわたり選挙管理委員会委員長として公明かつ適正な選挙の執行や啓発などに尽力してきた功績などが認められ、受章を果たしました。



↑岩永さん（中央）は、選挙管理委員会の委員長を長く務めました



↑勲章を胸に付けて、勲記を手に写真に納まる岩永さん

新春かるた会

市民図書館で『新春かるた会』がありました。

これは、子どもたちに昔の遊びを通じて日本の伝統文化などを知ってもらおうと図書館フレンズいまりが毎年行っているもので、幼児から大人まで幅広い世代の人が参加しました。

参加者は、用意されたさまざまな種類の中から、お気に入りのかるたを選んだあと、グループ毎に楽しんでいます。和やかな雰囲気の中にも、いざ、競技が始まると、そこは真剣勝負で、参加者は、集中して札を取り合い、時が経つのも忘れるほど熱中していました。



↑参加者は、遊びを通じて言葉の面白さや伝統文化の大切さなどを楽しみながら学んでいました

地域おこし協力隊活動レポート

（炭山地区）⑰



すみやま棚田 どんこ奮闘記

地域おこし協力隊の小原正道です。今回は、11月23日に開催した『すみやま棚田音楽フェス』を紹介します。

このフェスは、コスモスが色鮮やかに咲いているすみやま棚田で、地元のバンドを集めて音楽フェスを開催しようとする『すみやま棚田守る会』『二里コミュニティセンター』『中田青年部』が共同で企画したものです。

イベント前日は、休耕田の草払い、ステージとテントの設営、安全対策など、細かな点までみんなで協議しながら作業をしました。

当日は、すみやま棚田で活動をしている佐賀大学のボランティアサークルの初々しいバンド、キャリア数十年のベテランバンド、地元のハーモニカクラブ、オカリナの演奏など、幅広い年代の9組のグループが出演し、さまざまな音楽で訪れた人たちを盛り上げていました。

また、二里コミュニティセンターとすみやま棚田間でシャトルバスを運行し、約50人の来場者を迎えました。地元の人たちが、バスの運転手を快く引き受けてくれたおかげもあり、安全・安心な運行が行われました。

販売ブースでは、すみやま饅頭や、すみやまで取れた新米、中田青年部の揚げ物などが提供され、日本酒『すみやま』の試飲もありました。

天候にも恵まれ、多くの人たちが、コスモス畑の前ですてきな音楽を聴きながら、すみやま棚田で楽しく交流した一日となりました。



3市町広域連携企画！

有田町・伊万里市・武雄市の
イベントをお届け！

有田町

ありた春フェス2026

日時／3月1日(日) 12:30～16:00

会場／焔の博記念堂

内容／「有田町誕生20周年」をテーマに開催します。
みんなで一緒にありた春フェスを盛り上げま
しょう！

詳しくは



▲ホームページ

有田町まちづくり課
☎0955-46-2990

伊万里市

第23回 伊万里梅まつり

日時／2月22日(日) 10:00～15:00

場所／伊万里梅園『藤ノ尾』

内容／保育園児やエイサー隊によるステージイ
ベントのほか、梅の加工品の販売やキッチン
カーなども出店！県内最大規模の梅園で花
の香りを楽しみつつ散策してみませんか。

詳しくは

伊万里市農業振興課
☎0955-23-2557

武雄市

自分だけのアロマクリーム作り

日時／3月7日(土) 1回目 11:00～12:00

2回目 13:00～14:00

場所／武雄市役所1階ホール

料金／1,500円(プレゼント付き)

募集人数／各回10名ずつ(予定)

申込／2月9日(月)9:00～(平日のみ)※電話受付

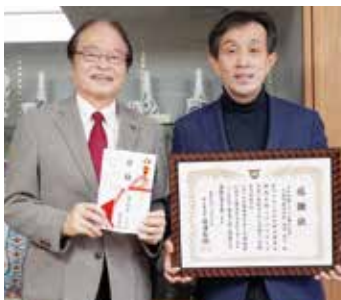
内容／リップクリームやハンドクリームとして使
用できる万能アロマクリームを手作りして
みませんか？天然成分100%の優しい使い心
地は、お子様にもお使いいただけます。
ぜひ、ご参加ください。

詳しくは

武雄市文化協会事務局
(武雄市文化課内)
☎0954-23-9181

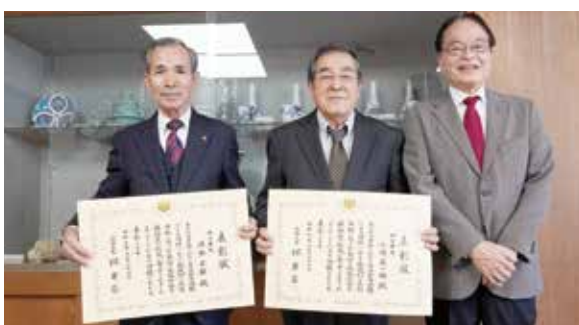
名村情報システム株式会社が

3年連続3回目の寄付

12月16日、名村情報システム
株式会社が、市に100万円
を寄付しました。今回の寄付
は、3年連続3回目でした。同社は、伊万里市ビジネス支
援オフィス『パンリビル』に入
居していて、ソフトウェアの開
発のほか、市内の小中学校にお
けるデジタル端末の導入と設
定業務、GIGAスクール構想
に基づくネットワークの保守
業務などに携わっています。この日、市役所を訪れた嶋崎
徹夫代表取締役社長は「わが社
が創業40周年を迎えたことを↑感謝状を受け取り写真に納ま
る嶋崎代表取締役社長(右)きっかけに寄付を始めたが、
子どもへの支援は続けていく
ことが大切だと考えている。
未来を担う子どもたちや子育
て世代への支援に活用しても
らいたい」と話しました。

自治会等地縁による団体功労者

総務大臣表彰伝達式を開催

12月19日、小濱眞一郎さ
ん(現 本町三・四丁目区 区
長)と、清水正彰さん(現
立花台四丁目区 区長)が、
令和7年度自治会等地縁に
よる団体功労者総務大臣表
彰の伝達を受けるために、
市役所を訪れました。2人は、永年にわたって
自治会の代表者として在職
し、地域的な共同活動を通
じて良好な地域社会の維持
と形成について顕著な功績
があったと認められ、受賞
を果たしました。

↑伝達を受けた小濱さん(中央)と清水さん(左)

ご寄付

ありがとうございました

次の方からご寄付をいた
だきました。

厚くお礼申し上げます。

※12月1日～31日受付分

(敬称略、希望者のみ掲載)

《福祉基金》

▼100万円

名村情報システム株式会社

(立花町)

▼は篤志寄付です。